

Rep
ort

身近な自然の観察・記録活動 石神井川緑道版

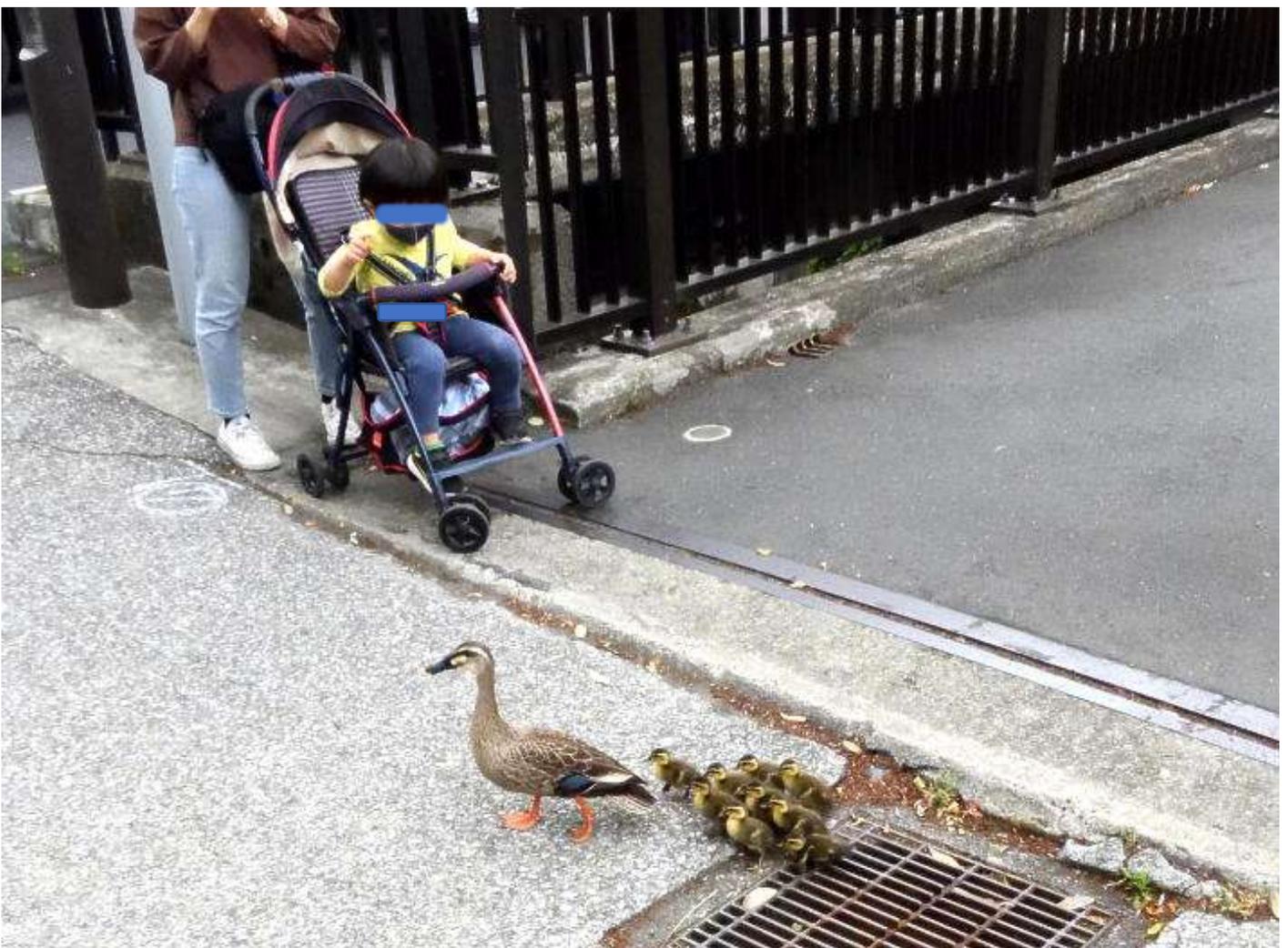
2022.5.12

一人ひとりの自主活動 だれでも参加できます

活動：月2回(第二木曜日・第四金曜日)10:00より(雨天中止)
コース：帝京大学付属病院北詰・御成橋たもと → 金沢橋
問合せ・連絡先：090-8646-9757 木村松夫 com-matchan@hotmail.co.jp

5～6月の石神井川観察は5/27(金)、6/9(木)、6/24(金)9:40 JRマンション前
10:00 帝京大学病院北側の御成橋たもと出発

カルガモの引越し観察活動途中で中止



石神井川緑道は「水辺」とは謳われているものの、川面までは10m近くの落差があるのに、このカルガモファミリー、どうやって上ってきたのでしょうか。また、どうやって水辺に帰るのでしょうか？ 見守る人間よりもカルガモのご当人がいちばん心配で不安に駆られているに違いありません。彷徨(さまよ)っている道は観察活動の遊歩道。彼らのお邪魔をしては申し訳ないので、5/12の観察は途中で中止、解散しました。その後のファミリーの行方が心配になります。

いちばん多いのはイネ科の植物かもしれない・・・



5/12に観察された開花しているイネ科の植物は、スズメノカタビラ、オオスズメノカタビラ、イチゴツナギ、ナガハグサ、カゼクサ、イヌムギ、ネズミムギ、カモジグサ、ニワホコリ、チガヤ、ズメノヤリ。ここまで11種で花盛り。さて、左の写真の細かい小穂を咲かせているのはなに？ 図鑑的には**ヌカススキ**か**コスズメガヤ**なのですが、分かりません。種の同定ではカヤツリグサ科がいちばん難しいのですが、イネ科も悩まされます。

珍しくオニノゲシが登場

ノゲシと揃い踏み

花はノゲシに似ているけれど、背丈は高く、何よりも葉の棘が鋭く、ちょっと触っただけでも痛みを感じるのは**オニノゲシ**。昔は秋になると赤塚の畑の周りにいっぱい咲いていたものです。ところが、近年は葉がオニノゲシに似て棘が目立つけれど、触っても痛くない、どうもノゲシとオニノゲシの交雑種ではないかと思われる種が増えてきていて、オニノゲシそのものはほとんど見かけられなくなりました。

それがどういうわけだか石神井川緑道に出現。右写真の赤丸内がそれです。ご丁寧に、普通のノゲシも隣り合って咲いていました（白色円内）。これまた、分かんねえ！



よく考えると「どうして?」「なんで?」の花 でも、悩まずに楽しむのも植物観察

ペラペラヨメナ 花がそっくりのヒメジョオン 白花のカタバミ



開花時期が早すぎないか→

